

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)									
ET45F004		生徒指導論特論(Special Seminar of Guidance of Pupil Person Work)					教育学									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
選択	2	1	大学院教育学 研究科	後期 木 4		氏名 長谷川 祐介 E-mail yhasegawa@oita-u.ac.jp 内線 7541										
授業の概要	いじめや不登校、非行など生徒指導に関わる諸課題ならびに学校教育における教師の役割等に関する社会学的研究の論文講読を行い、その内容についての発表ならびに学生同士の議論を通して、生徒指導に関わる実践的指導力を育てる。															
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)										
目標1 いじめ、不登校、非行等に関する社会学的研究の講読と議論を通じて、逸脱行為の発生メカニズムについて理解できる。						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標2 学校教育における教師の役割等に関する社会学的研究の講読と議論を通じて、学校における生徒指導のあり方を説明できる。																
目標3																
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1 今日の生徒指導の課題																
2 いじめに関する社会学的研究																
3 不登校に関する社会学的研究																
4 社会問題としての児童虐待																
5 薬物問題と生徒指導																
6 トラブル対処のあり方																
7 万引きと生徒指導																
8 性に関する問題行動と生徒指導																
9 発達障害と生徒指導																
10 生徒文化の変容																
11 学校の「荒れ」を経験した教師たち																
12 教育困難校における生徒指導																
13 スクールカウンセラーの意義と課題																
14 生徒指導における教師の役割																
15 これからの生徒指導のあり方を考える																
ラック ニテン イグ	A:知識の定着・確認	コメントペーパー、ディスカッション				工 夫 そ の 他 の										
時間外学修 の内容と時 間の目安	準備 学修	授業において取り扱う論文を読み、内容の確認ならびに疑問点や検討事項について整理する(22.5h)。														
	事後 学修	授業において取り扱った論文を用いて復習する(22.5h)。														
教科書	なし															
参考書	日本教育社会学会編『教育社会学研究』(～最新号) 日本生徒指導学会編『生徒指導学研究』(～最新号) その他は授業で随時紹介します															
成績 評価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10				
	発表	70%														
	コメントペーパー	30%														
注意事項	授業中、疑問に思ったことや自分の意見は積極的に発言すること。															
備考	なし															
リンク																
	URL															